

【平成 29 年 2 月 6 日から当院へ母体搬送を要請された患者さん方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

福岡県における母体搬送患者の状況調査

【研究背景・目的】

福岡県の現状として、妊婦さんの救急搬送症例に関して、その実数や内訳・治療場所・転帰など不明な点が多くあります。そこで、産科母体搬送例の原因とそれに関する搬送受入れ状況を調査することで、地域での問題点を抽出し、今後の産科救急医療体制の構築につなげることが可能になると考えています。

さらに、この研究結果を調査に協力してもらった周産期医療にかかわる医療機関にフィードバックすることによって、本研究が福岡県の産科救急医療を取り巻く諸問題の改善に役立てられることを期待しています。

福岡県は全分娩の約 70-75%が一次施設である診療所で行われています。東京、大阪、札幌など日本における他の主要都市と比較すると診療所での分娩が極めて高いといった現状があります。こうした背景のもと、分娩に伴う母児の死亡率を低く保つためには、効率的かつ迅速に対応が可能な周産期救急搬送システムの構築が重要となります。このため、福岡県保健医療介護部医療指導課では、福岡県の総合・地域周産期医療センターならびに高度周産期医療機関に対し、母体搬送要請患者の実態調査を行うことになりました。その調査で得られた情報をもとに、本研究では、母体搬送症例の母児のよりよい転帰を得るため、搬送症例のスムーズな受入れによる診療成績の向上をはかる等、今後の医療体制・搬送システムのあり方を検討する予定です。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間：平成 29 年 5 月 23 日～平成 33 年 3 月 31 日
- ・対象：平成 29 年 2 月 6 日から平成 33 年 3 月 31 日までに福岡県内の総合・地域周産期医療センターならびに高度周産期医療機関に対し、母体搬送を要請された妊婦さん
- ・取得情報、および他施設へ提供する情報：

依頼日時、依頼元、搬送方法、年齢、妊娠週数、搬送依頼理由、搬送受入れの可否、受入れ不可の理由、受入れ不可後の対応

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

<飯塚病院>

研究責任者：飯塚病院 産婦人科 後藤 麻木

<共同研究施設における研究組織>

- ・主管施設名：九州大学病院 総合周産期母子医療センター
- ・研究責任者：九州大学病院 総合周産期母子医療センター講師 藤田 恭之
- ・この研究についての情報公開先(その他の共同研究施設)：福岡県のホームページ

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/botai.html>

【問い合わせ先】

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 産婦人科 後藤 麻木

TEL：0948-22-3800（代表）